



取材許可まで6年、撮影2年
初めて日本の刑務所にカメラを入れた
庄巻のドキュメンタリー

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON プリズン・サークル CIRCLE

www.prison-circle.com

ほくたちがここにいる
本当の理由

監督・制作・編集：村上春樹 | 撮影：南早男 | 脚本：村上春樹 | アニメーション監督：若見ありさ | 音楽：松本純一 | 鈴木浩行
制作：out of frame | 配給：東宝 | 2019年/日本/136分/DCP/ドキュメンタリー ©2019 Kaori Sakagami



過熱する犯罪報道、
厳罰化を叫ぶ声
——
けれど私たちは、この国の
「罪」と「罰」について
多くを知らない。

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、トアの施設や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その裏の真実は、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community = 回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分はここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶、痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく...

PRISON CIRCLE

監督は、「ライフアース 終身刑を超えて」「トークバック 沈黙を破る女たち」など、米国の受刑者を取材し続けてきた坂上智。日本初となる刑務所内の長期撮影には、大きな壁が立ちちはたかった。取材許可が降りるまでに要した時間は、実に6年。この頃の中のプロットに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗殺人などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

処罰から回復へ
今、日本の刑務所が
変わろうとしている

www.prison-circle.com | prison_circle | fb.com/prison.circle